

1. テクサポ北海道ニュース創刊

令和元(2019)年9月に創設したテクニカルサポート北海道(通称:テクサポ北海道)ですが、制度創設以降、大規模な自然災害もなく、これまで職員派遣の実績はありません。

しかしながら、全国的には今年7月に最上川(山形県)や球磨川(熊本県)で大規模な河川氾濫が発生しており、北海道においても、平成28(2017)年8月に上陸・接近した4つの台風や平成30(2019)年9月の胆振東部地震のような大規模な自然災害が、いつ発生してもおかしくない状況にあります。

テクサポ北海道では、今後もしっかりと技術研鑽を積み、本番に備えていきたいと考えており、その取り組みを「テクサポ北海道ニュース」で紹介していきます。

[テクニカルサポート制度については、『テクニカルサポート北海道 概要版』を参照願います。]

2. 令和2年度「テクニカルサポート北海道」災害研修会を開催

令和2(2020)年6月29日(月)、今年度の災害研修会を開催しました。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を図るため、新たにテクニカルサポート北海道に登録した55人を対象に、高橋維持管理防災課長の挨拶後、境谷課長補佐(施設防災)より「テクニカルサポート制度の概要」について、河川砂防課の梶原係長(災害復旧)より「災害の初動対応から災害復旧事業の流れ」について説明しました。

3. 初の派遣準備

令和2(2020)年8月7日(金)、台風4号から変わった温帯低気圧の影響で道内の広い範囲で荒天に見舞われ、網走・帯広建管を除く8建管で非常配備体制となりました。

この内、宗谷総合振興局(稚内建管)では第2非常配備体制として災害対策地方連絡本部が立ち上がり、林地崩壊(稚内市、礼文町、利尻富士町)や住家被害(床下5戸 稚内市、利尻町、礼文町)等が発生しました。

稚内建設管理部からの派遣要請に備え部内関係課へ派遣可能職員の照会を行ったところ、8日(土)~10日(祝)の3連休にも関わらず、約半数(57名/118名)の職員が派遣可能となりました。

4. 令和2年度「テクニカルサポート北海道」現地研修を実施

令和2(2020)年9月1日(火)の防災の日にあわせて、札幌建設管理部事業課に協力をいただき、現地研修を実施しました。(参加者 本庁各課:17名、札幌建設管理部本部:5名、札幌建設管理部事業課:13名)

『台風999号の影響により札幌建設管理部管内の広い範囲で浸水被害が発生』というシナリオを想定し、建設管理部からの派遣要請、本庁内での派遣手続き、現地調査、被災状況報告等の一連の流れを確認しました。

